

レブンクル自然情報

カラーで自然情報を「礼文島のHP http://www.d1.dion.ne.jp/ishida_h/index.htm」
「ゆうひの丘のHP <http://homepage1.nifty.com/seikanso/>」

秋風の吹く礼文島から

8月12日頃は暑くて暑くて外を歩いて
いられない状態でした。それでも観光客
は歩いていて、熱射病になる方もいたよ
うです。私もあの2、3日でさらに日焼
けしました。それが、お盆を過ぎたら急
に秋になってしまったようで、まだ気温
は20度以上あるのに風が肌寒く感じま
す。こんな礼文島に今はどんな花が咲い
ているのでしょうか。涼しくなった山を
歩いて見ましょう。

黄色：トウゲブキ、ハンゴンソウ、カセンソウ
ヤナギタンポポ、コウゾリナ、
オオウサギギク、ネムロコウホネ

青色：ツリガネニンジン(ハクサンシャジン)、
ナミキソウ、オオナミキ、リシリブシ

紫色：チシマリンドウ、ヒロハクサフジ

白色：エゾノコギリソウ、エゾゴマナ、
ヤマハハコ、エゾコゴメグサ、
チシマワレモコウ(ガボノワレモコウ)
カラフトニンジン、オオバセンキュウ、

桃色：イブキジャコウソウ、シオガマギク、
エゾカワラナデシコ、ミゾソバ、
イヌゴマ、クルマバナ、

緑色：ハナイカリ、オオヤマサギソウ、
ハリギリ

この中でもチシマリンドウやハナイカリは草丈
が20cm以上のものから3cmに満たないものま
であり、車に乗っては見つけられない魅力
があります。虫眼鏡を片手に散策歩道を歩いて
見ましょう。花に舞う蝶の姿や草原でなく蝉や
バッタの仲間とも出会えます。



花27. トウゲブキ峠落

キク科メタカラコウ属

花期は長く東側斜面では6月から咲き始め
8月には至る所で盛りを迎える。

花の色は黄色、礼文島で普通に見られる。

夏の夜のスライド上映会の予定

今年もスライド上映を始めました。
午後7時半～緑が丘キャンプ場管理棟
8月24日、31日、
9月7日、14日、21日、28日

富士フィルム礼文島の撮影ガイド
<http://www.fujifilm.co.jp/sapporo/tokusyu/>

7月の自然日誌

- 1日・サロベツ原野エゾカンゾウ11年ぶりの満開？
- 4日・曇りのち晴れ15度、風あり、利尻綺麗
カワラヒワ、ウグイス、コマドリ、ノゴマ
- 5日・19度 帰化植物が咲き始めた
コンフリー、マツヨイセンノウ、コウリントンボ
- 6日・霧・秘密の花園植物調査、礼文林道
- 7日・曇り15度・江戸屋山道植物調査、
- 9日・晴れ16度利尻夕日、
- 10日霧17度利尻晴れ
- 11日・曇り18度9m南風。
金田岬ゴマフアザラシ8頭-朝11頭-優ちゃん。
桃岩歩道リシリソウ、
礼文林道カラフトゲンゲが咲き始めました。
- 12日霧雨20度
ウスユキソウ群生地：コケモモ、クモキリソウ開花
- 13日雨20度、
- 14日霧雨21度3m、
- 15日霧雨蔵島神社御輿
- 16日曇り16度0m
金田岬アザラシ見えなかった。
空港ノビタキ、キマユツメナガセキレイ、ヒバリ、
香深井クマガラ、アオジ、ミソサザイ、
天気が悪く月見見えなかった。
- 17日曇り16度、18日曇りのち晴れ17度
- 19日快晴利尻くっきり星綺麗14度
宇遠内：マジジロキビタキ、ヒガラ、ツツドリ、
ミヤマカケス、キセキレイ、
- 20日快晴・昆布初日アマツバメ、シマセンニュウ、
- 23日・やませの森整備：鹿川パパ、はるか、
ハナニガナ、ヤマニガナ、エゾイチゴ、
ウミノミツバ、アカバナ
- 24日雨20度・
幌泊ツリガネニンジン、
金田岬ゴマフアザラシ12頭、エゾカワラナデシコ、
鮑古丹ハマウツボ、ナミキソウ、ウンラン、
香深井-礼文林道シロバナニガナ、トリアシショウマ
- 25日雨・自然情報配布・金田岬ゴマフアザラシ6頭
- 26日曇り21度
入舟：庭にツバメがいる。タンボヤガ
知床-桃岩ウスバキトンボ多数飛んでいる。
- 27日24度ハクセキレイ多数見る。藪蚊が発生。
- 28日晴れ23度昆布漁・礼文岳登山
元地：ホンブレイキマイマイ、清澄鞆発見
- 30日・晴れ暑い
香深井コエゾゼミうるさいほど啼いている。

小さな植物園 オープン 大備・山本宅
去る6月20日から大備の山本繁次さん宅で高山植物の写真や本などを一般に公開しています。

自然情報にご厚意ありがとうございました。
入舟 林朝郁 殿

「北の島だより」子供たちと自然とのふれあい、四季の礼文島の魅力を紹介します。
写真と文： 杉田美野里、 絵： 中島祥子、 発行： 岩崎書店 定価1500円

礼文島の地形の話し

8月17日 都立大学大学院生の植木岳雪氏に礼文島の地形の出来方について説明していただきました。詳しい内容は紙面の都合で省きましたのでご了承下さい。

花の本
礼文 / 花の島
花の道
利尻 / 山の島
花の道
サロベツ / 花原野
花の道
書店で販売中

はじめに
礼文島を船の上から（少し離れたところから）眺めると特徴ある二つの地形が見られます。

一つは「**平らな丘陵地 A**」と、
もう一つは「**なだらかな緩斜面 B**」です。

平らな丘陵地Aの例としては、a.知床の尺忍小付近、
b.入舟香深中付近、c.赤岩礼文高付近、d.上泊灯台付近、
e.幌泊礼文空港付近、f.スコトン岬須古頓小、g.弁財泊などが見られます。

このような地形を「**海成段丘**」と呼び、この地域は波に長い間もまれることにより波の影響を受ける深さまで、海岸が削られてできた海面下の平坦面です。後に地球の寒暖に伴う海面の上下と土地の隆起によって段丘が保存されました。礼文島には2段の更新世の海成段丘面が見られ、形成年代は低位の幌泊面（a～f）は約13万年前、高位の弁財泊面（g）は20万年前と考えられる。

またAの上にはなだらかな緩斜面Bが礼文島中に見られません。Bのような地形は「**周水河性平滑斜面**」と呼ばれ、氷河期において出来た永久凍土が夏の暖かい季節に地上付近の凍土が溶けだして流れ落ちる（ジェリフラクションという）。これを何度も繰り返し土が流れ落ちたことによりしだいになだらかな斜面が形成されたと考えられます。形成年代は**最終氷期の約7万年前から1万年位**と考えられます。宗谷丘陵などにも同じような地形が見られます。

Q&A

- 1.海成段丘の証拠は何？：
一つの証拠として地層の中に丸い石がたくさん含まれる。これは海岸で石が波に洗われて丸くなったものが堆積していると考えられる。香深中学校の体育館脇に見られる丸い石もその証拠です。
- 2.なぜ海成段丘の形成年代が特定できるのか？：
幌泊面を「支笏第一軽石」が覆っている。「支笏第一軽石」は約3万8千年前くらいに噴出したと考えられていて、全道各地に降り積もって形成年代特定の目安になっている。幌泊面を「支笏第一軽石」が覆っていると言うことはそれより古いと言うことになりません。そうすると一番可能性が高いのが、現在よりも一つ前の暖かかった13万年前の最終間氷期の高海面期に形成されたと考えられる。
- 3.海成段丘を眺めるのに良い場所は？：
赤岩付近から北を眺めた上泊付近の段丘、上泊灯台付近から南を眺めた赤岩付近の段丘。

参考資料：植木岳雪「利尻島・礼文島の海成段丘」
利尻研究19 67-78、march2000